

公的医療機関等2025プラン及び2025年に向けた対応方針 変更状況

(2021.7.31時点)

資料7

医療機関名 ※下段は開設者名	病床種別						現状（病床機能）①					指定・届出等					2025年（病床機能）② ※下段は現状との差（②-①）						機能変更あり（時期）	過剰な病床機能への 転換	増床希望あり	2025年に向けた方針（抜粋）		
	一般	療養	精神	結核	感染症	計	高度	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	高度	急性期	回復期	慢性期				休棟	介護	計
社会福祉法人 日本医療伝道会 総合病院 衣笠病院	許可病床	198				198		50	124	20	4	198	○	○	○	○				50	128	20	0	0	198	地域包括ケアシステムの中核的施設として、サブアキュート、ポストアキュートとリハビリ、緩和ケアの幅広い入院機能を提供する。		
社会福祉法人 日本医療伝道会	稼働病床	194				194		50	124	20	0	194		(20床)	(91床)	(33床)				-	-	+4	-	△4	-			
独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター	許可病床	86		246		332					41	86									45		0		45	○アルコール依存症・その他依存症 依存症全国拠点病院として構想区域内のみならず全国に医療を提供する機能を維持する。 ○一般精神 専門的な外来診療及び急性期治療を中心とした入院診療の提供を地域にて行う。 ○認知症 アルコール関連認知症の外来・入院治療及び認知症全般に関しての外来を中心とした早期診断・治療を行い地域における認知症治療疾患医療センターとして役割を果たす。	現行の病床機能を継続する。 2021年10月新病棟開棟により現行の病床機能を継続しつつ、休棟中医療法一般病床41床と精神病床14床を返上。	地域での積極的な連携体制を強化し、地域医療に更に貢献する。
独立行政法人国立病院機構	稼働病床	45		246		291					0	45								-	-	-	-	△41	-			